

授業科目名	組織細胞機能学 (Physiology and Biochemistry)		
対象学年	2年生	単位	10単位
科目責任者	ふじわら ゆういちろう 藤原 祐一郎	所属	生理学及び生物物理学
授業方法	生化学、生理学共に講義中心であるが、それに加え、実習がある。		
概 要	医師となるための医学知識の習得にむけて、身体の機能調節の仕組みを基礎的側面から体系的に理解する。		
到達目標	各ユニットのシラバスを参照のこと		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
評価項目	到達目標の達成度（基本的理解と知識の応用）		
評価法	組織細胞機能学実習は生理学1、生理学2、生化学1、生化学2の4教室の共同として行われ、実習を欠席した場合は、試験結果に関わらず単位は不可となる。実習に参加した上で、生理学1、生化学1、生化学2（生理学2は含めない）すべての試験に合格した場合に、組織細胞機能学としての単位が認められる。評定（S、A、B、C）にも生理学2の点数を含めず、生理学1、生化学1、生化学2の3科目の平均点数で決定する。		
予習・復習へのアドバイス	別に掲載する各ユニットの項を参照。		
履修上の注意 アドバイス	本科目の講義内容は臨床医学の理解のための基盤となるものである。また本講義の目的とするところは、単なる暗記ではなく、複雑な生体機能を真に理解することにある。それには学生諸君の講義や実習、グループ学習における積極的参加が不可欠であり、特に理由のないかぎり欠席は認めない。実習は講義の内容をさらに深く理解するために行われるものである。 予習、復習に力を注いでもらいたい。毎回の授業内容が豊富なので、欠席するとその後の挽回が困難になる。		
推奨参考書	各ユニットのシラバスを参照のこと		